

実践記録（小5・国語）

1 単元 AI とのくらし

2 ねらい

ロイノートを活用してまとめた考えを基に、ミニディベートを通して自分と相手の考えを比較しながら、自分の考えを広げたりまとめたりすることができるようにする。

3 手立て

・ 自分の考えをもちやすくするための情報収集の工夫

本やインターネットで調べるだけではなく、地域の方や保護者に対してインタビューを行う。また、アンケート調査を行うことで、児童にとって身近な情報を収集できるようにする。

・ 理由を明確にするために、情報を分類・整理する工夫

「クラゲチャート」で理由をまとめた後、「キャンディ・チャート」で仮定や予想、より詳しい理由をまとめる。その後、自分の考えを記述できるワークシートを活用することで、様々な手段により、集めた情報を基に自分の考えをもつことができるようにする。

4 指導計画（9時間完了）

- (1) 学習の見通しをもち、テーマを決定しよう・・・1時間
- (2) 決めたテーマについて情報収集をしよう・・・3時間
- (3) テーマについて利点と問題点をまとめよう・・・1時間
- (4) 利点・問題点について意見交換をしよう・・・2時間
- (5) ミニディベートを行おう・・・2時間

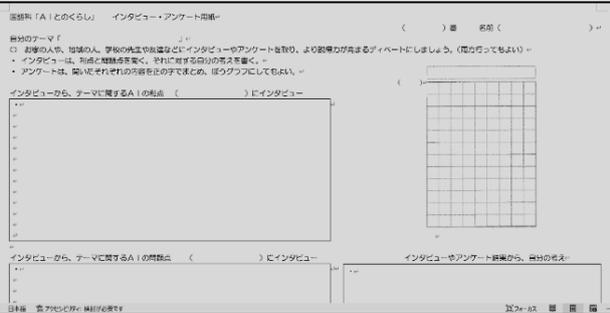
5 実践の様子

時数	主な学習活動																		
第1時	<p>(1) 学習の見通しをもち、テーマを決定しよう</p> <p>第1時では、ミニディベートの行い方を説明し、これから調べていく AI 機能についてタブレットで調べ、身近に感じられるようにした。</p> <p>テーマを、「ロボット掃除機」、「自動車自動運転」、「セルフレジ」、「コミュニケーションロボット」、「顔認証システム」と、教師側で五つ提示した。この五つを調べ、それぞれの意見を出し合うことで、大まかに各 AI 機能について児童は知ることができた。</p> <p>その後、出た意見を基に、自分が調べたいテーマを決定した。</p> <div data-bbox="895 1503 1393 1944" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>これから、A1とみなさんのくらしの関係について学習していきます。<sup>41</sup></p> <p>1つのテーマのA1について、「あったほうがいいな〜、べんりだな。」と思う利点と、「ん？こんな物があるぞ！」と思う問題点をインタビューやインターネット、本などから調べていきます。<sup>42</sup></p> <p>その後、役割を決めて話し合う「ディベート」をしながら、自分の考えをどんどん広げ、まとめていきます。<sup>43</sup></p> <p>そこで、「A1」について、アンケートを行います。<sup>44</sup></p> <p>調べてほしいテーマに順位を付けましょう。<sup>45</sup></p> <p>また、1位、2位にした理由を書きましょう。<sup>46</sup></p> <p><sup>47</sup></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ ロボット掃除機<sup>48</sup></li> <li>◇ 自動車自動運転<sup>49</sup></li> <li>◇ セルフレジ<sup>50</sup></li> <li>◇ コミュニケーションロボット<sup>51</sup></li> <li>◇ 顔認証システム<sup>52</sup></li> </ul> <p><sup>53</sup></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">順位<sup>54</sup></th> <th style="width: 80%;">A1の名前<sup>55</sup></th> <th style="width: 10%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位<sup>56</sup></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td>2位<sup>57</sup></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td>3位<sup>58</sup></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td>4位<sup>59</sup></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td>5位<sup>60</sup></td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/></td> </tr> </tbody> </table> <p><sup>61</sup></p> <p>1位にした理由<sup>62</sup></p> <p><input type="text"/></p> <p><input type="text"/></p> </div>	順位 <sup>54</sup>	A1の名前 <sup>55</sup>		1位 <sup>56</sup>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	2位 <sup>57</sup>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	3位 <sup>58</sup>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	4位 <sup>59</sup>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	5位 <sup>60</sup>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
順位 <sup>54</sup>	A1の名前 <sup>55</sup>																		
1位 <sup>56</sup>	<input type="text"/>	<input type="text"/>																	
2位 <sup>57</sup>	<input type="text"/>	<input type="text"/>																	
3位 <sup>58</sup>	<input type="text"/>	<input type="text"/>																	
4位 <sup>59</sup>	<input type="text"/>	<input type="text"/>																	
5位 <sup>60</sup>	<input type="text"/>	<input type="text"/>																	

第2時  
～  
第4時

(2) 決めたテーマについて情報収集をしよう

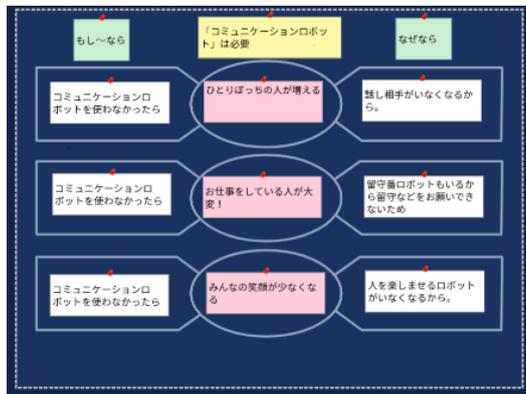
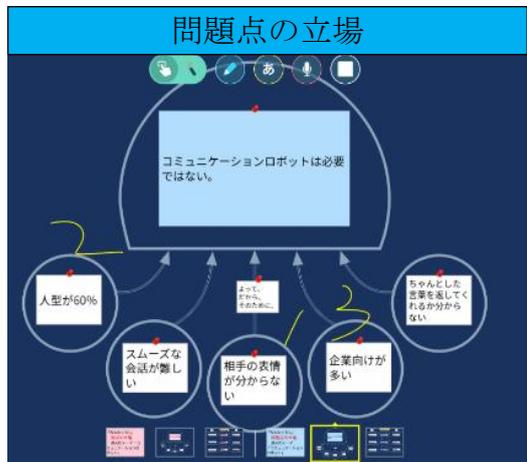
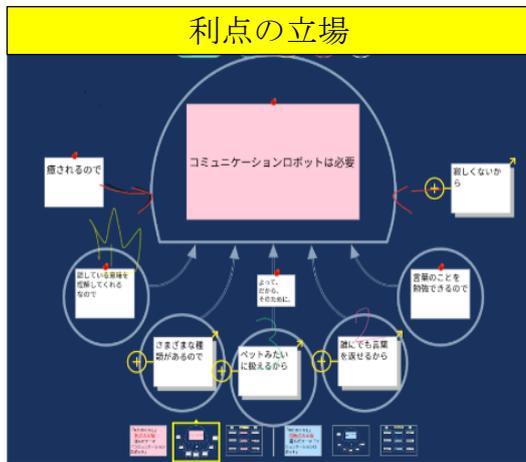
第2時から第4時では、自分が調べるAI機能の「利点」と「問題点」をそれぞれ調べた。自分の考えを広げることができるように、インターネットを使って調べるだけでなく、区の図書館から借りた本やインタビュー、アンケート調査などの調べる活動を行った。多様な調べ方を取り入れたことで、AI機能に関する情報を深めることができた。

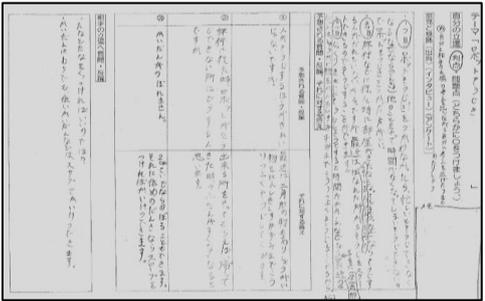


第5時

(3) テーマについて利点と問題点をまとめよう

第5時では、集めた情報を立場ごとに整理ができるように、「クラゲチャート」と「キャンディ・チャート」を活用した。「クラゲチャート」で理由を整理した後、「キャンディ・チャート」で仮定や予想、より詳しい理由をまとめた。2段階の方式を取ることで、自分の考えをより明確にまとめることができた。



<p>第6時 ～ 第7時</p>	<p>(4) 利点・問題点について意見交換をしよう</p> <p>第6時～第7時では、ディベートを行うグループとは別のグループで意見交換をした。意見交換の際は、自分が作成した「クラゲチャート」と「キャンディ・チャート」を見せ合いながら説明することで、「その言葉は説得力があっていいですね。」や「もう少し、利点を詳しくまとめると分かりやすいですね。」など、様々な意見を交換することができた。</p> <p>意見交換後は、再度「クラゲチャート」と「キャンディ・チャート」を見直していき、発表原稿のワークシートにまとめた。</p> <p>シンキングツールを活用して意見交換を行い、その後ワークシートに取り組んだことで、自分の考えを具体的にまとめ、深めることができた。</p>	 
<p>第8時 ～ 第9時</p>	<p>(5) ミニディベートを行おう</p> <p>第8時～第9時では、ミニディベートの進め方を提示し、利点、問題点、聞き手の全ての立場で話し合った。</p> <p>また、自分の立場が分かりやすいように赤白帽子をかぶり、まとめた文章を発表した。</p> <p>ミニディベートが終わった後の振り返りの場面では、ロイロノート・スクールの「テキストカード」に振り返りを記入し、回答を共有した。視覚的に友達の記述内容が分かるようにすることで、考えを広げることができた。</p> <p>I</p>	  <div data-bbox="963 1429 1393 1570" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「ミニディベートを終えて」</p> <p>○ミニディベートを行う前と後で自分の考えがどう変わったか。</p> <p>○ミニディベートを通して、どのように考えが広がったか。</p> <p>○○=自分のテーマ 例・最初は、○○は～ことが利点（問題点）と考えていた。しかし、～という意見を聞いて、～～ということに気づいた。全体を通して、～～という考えをもった。</p> <p>例・○○は～が利点（問題点）と考えた。ミニディベートを通して、もっと～～と感じた。 今後は～</p> </div>

## 6 成果と課題

- インターネットで検索するだけでなく、本や地域の方、保護者へのインタビューやアンケート調査を行うことで、得た情報を深めることができた。
- 「クラゲチャート」で理由を整理し、「キャンディ・チャート」で仮定や予想、より詳しい考えをまとめてから発表原稿を作成したことで、自分の考えをもつだけでなく、その考えに対して自信を深めることができた。
- 振り返りの場面では、テキストカードに書く時間と回答共有する時間が短かったため、自分の考えに深まりがあまり見られなかった。利点と問題点の立場で、テキストカードを色分けするなどして、より多くの気づきを見付けていく必要がある。